

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和2年3月23日

No.49

校長 坂野 修一

学校があるって、本当にいいなあ～♪



「16日再登校不可…。春休みまで臨時休業延長…。これだけは避けたい…。」
とNo.48の末尾に書きましたが、残念ながらそうになってしまいました。山梨では、富士吉田市が授業再開を決断し、全国各地でも同様の再開を行った地域のニュースを見聞きすると、山梨国中地域で発生してしまった2件の感染事実を非常に残念に思います。それさえなければ…。続報が出てきませんが、2人の感染者の方は回復されたのでしょうか？全快されることを願うところです。

さてさて、長い長～い臨時休校になってしまいました。休校期間中に2回の家庭訪問をさせていただきました。訪問を終えた先生たちからは、「体調を崩すことなく元気に家庭生活を過ごしている」と報告は受けていたものの、今朝、実際にスクールバスから元気に降りてくる子どもたちの姿を見て、一安心したところです。その後は、久しぶりに学校内に子どもたちの元気な声が響き渡っていました。子どもたちも、友達との再会にうれしさ爆発といった感じがしました。やはり“子どもがいてこそその学校”という感じを今日は痛感しました。

私の無尽仲間やソフトボールチーム仲間からは、「坂野～(修一ちゃん～)、学校には行ってるの?」とよく聞かれました。「行ってるさよ～、いろいろあるだ～」と返事をします。子どもたちが登校していなくても、やるべき仕事はたくさんあります。特に年度末ですから、その仕事量は膨大な量です。休校中、確かにデスクワークの時間は、学校がある日よりとれました。だからといって、PCの前に座って仕事をするのが本業ではない先生たちにとっては、慣れないスタイルでの毎日の勤務に、逆に疲れてしまったかもしれません。「子どもたちに勉強を教える。」「一緒に遊ぶ。」「一緒に給食を食べる。」「一緒に掃除をする。」「一緒に笑い、時にはガツンと子どもを叱る。」「叱ったら、いいところを見つけて褒める。フォローする。」そんな当たり前の日常を繰り返すことのできなかつた休校が終わり、学校再開を喜ぶ先生たちの顔は、いつも以上に輝いていました。

子どもたちも、明日の卒業式に向けて、そして年度末ということで、1校時から3校時までの限られた時間を、1秒たりとも無駄にすることなく過ごしました。特に、明日卒業していく6年生は、秒刻みのスケジュールだったことでしょう。あっという間に時間が経ちましたが、私たち教職員以上に、子どもたちの顔も輝いていた今日の午前中でした。

さあ、明日は卒業式です！6年生も在校生も、思い出や感傷に浸る暇もなくこの日を迎えることになりました。保護者や在校生が参加できなかった学校があります。だいぶスタイルを変えて実施したというニュースも見聞きました。本校は、少人数の学校という利点を生かし、来賓のみなさまのご挨拶など割愛させていただくところもありますが、子どもたちの出番は例年どおり実施することとしました。練習不足ですのうまいかない点もあるかもしれませんが、バタバタと慌てることなく卒業式を進めていくことを、子どもたちともに確認したところです。

「主役は6年生。在校生は脇役。主役と脇役がどちらももしっかり頑張ってこそその卒業式だよ。練習はほとんどできなかったけれど、休み中の家庭での練習の成果を精一杯発揮し頑張ってくださいね。」今日のそれぞれの練習の中で、6年生、在校生それぞれに伝えました。明日の卒業式が、早川南小学校らしい温かな気持ちに包まれた卒業式になりますよう、各ご家庭におきましてお子様を励ましていただけますようお願いいたします。